令和７年２月２８日

加東市長　岩　根　　正　様

加東市水道事業及び下水道事業運営審議会
会長　梅野　巨利

「加東市水道事業新ビジョン・経営戦略」（仮）及び「加東市下水道事業新ビジョン・経営戦略」（仮）の策定について（答申）

令和６年１月１７日付け諮問第１６号で諮問のあった標記のことについて、当審議会において慎重に審議を行った結果、別添「加東市水道ビジョン・経営戦略【2025（令和７）年度～2034（令和 16）年度】(案)」及び「加東市下水道ビジョン・経営戦略【2025（令和７）年度～2034（令和 16）年度】(案)」のとおり答申します。
なお、答申に当たっては、下記の事項に留意されるよう要望します。

記

１　将来における人口減少による料金・使用料収入の減少や、老朽化に伴う施設・管路の更新需要の増加、また近年の物価高騰などにより、今後とも厳しい経営状況が見込まれることから、上下水道事業の持続性確保に向けて、引き続き、適正な水道料金及び下水道使用料についての定期的な検討を行うこと。

２　水道事業のアセットマネジメント及び下水道事業のストックマネジメントの推進により、施設・管路の着実な更新を行うとともに、これらを反映した投資・財政計画については、毎年度の進捗管理と社会情勢等に応じた見直しにより、柔軟な運用を行うこと。

３　本ビジョン及び経営戦略に基づき、経営基盤の強化に取り組みながら、有収率の向上、施設のダウンサイジング、ＤＸ技術や広域連携、官民連携などの手法を効果的に取り入れ、経営の効率化及び事業費の縮減を図ることで、健全な事業運営に努めること。

４　上記の取組について、市民やその他利用者への広報を行い、上下水道事業への理解を深めるための周知を徹底すること。